

50 ミクロン以下のフィールドサイズでの Dscan

1. 以下、50 ミクロンのフィールドサイズで説明していく。まず、500 ミクロンのフィールドサイズ（つまり使いたいフィールドサイズの 10 倍）で実際に描画したことのあるパターンを用意する。次に条件設定で、フィールドサイズを 50 ミクロンに設定する。さらに条件設定の中のハード設定で “ $x / 600 (\%)$ ” となっている部分を “ $x / 6000 (\%)$ ” に変える。保存して、設計終了。
2. 通常通り、描画パターンを立ち上げた後で Dscan を立ち上げ、SendDscan
3. Dscan のメニューバーから、“Dscan” - “LithCondition”を選択する。描画条件が現れるので、フィールドサイズを 50 ミクロンから 500 ミクロンに変更し、“ $x / 6000 (\%)$ ” となっている部分を “ $x / 600 (\%)$ ” に変える。保存して、設定終了。この時、Dscan を早く行うには Dscan 上での露光時間を短くすると良い。ハードの設定、および露光時間などは GetDscan では描画パターンに読み込まれないからである。
4. Dscan のメニューバーから、“MarkSearch” - “Search Start”を選択し、Dscan での調整作業を行う。
5. Dscan の調整作業が終了し、“Get Dscan”を行ったら、Dscan を終了させる。その後、通常通り露光する。